

事務事業マネジメントシート（令和6年度実施分）

事業名	オーラルケア28(にいはち)プロジェクト			背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か
所管局	保健医療局	所管課	口腔保健支援センター		近年、歯科口腔が全身の健康やWell-being向上に寄与するというエビデンスが示されていることから、28本(親知らずを除く)ある永久歯を生涯健康に保つため開始。
根拠法令	健康増進法、歯科口腔保健の推進に関する法律				
開始年度	令和3年度	行政計画	—		

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか	実施内容(事業手段)	成果(見直し判断基準)
	・乳幼児・学齢期市民 ・成人期市民 ・高齢期市民		
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか		
	28本(親知らずを除く)ある永久歯を生涯健康に保ち、健康寿命の延伸とWell-beingの向上につなげる。		
		令和6年度、前年度の改善方策を踏まえ、目的達成に向けて主にどのような方法で何を行ったのか ■関係者WG開催、福岡市歯科口腔保健推進協議会に事業内容等報告 ■事業の実施 (継続事業:10件)ポケモンスマイルではみがき大作戦、産婦歯科健診、高齢者口腔ケア推進事業、デンタルチェック18~20、SNSを活用した啓発、おいしいオーラルフレイルチェック、幼稚園・保育園におけるフッ化物洗口事業、放課後児童クラブ等への歯科衛生士派遣、歯磨きグッズワークショップ、デンタルフロス配布 (新規事業:1件)企業向け簡易歯科健診モデル事業 (拡充事業:1件)ワンコイン歯科節目健診	どのような状態になったら事業を見直し(終了)するのか 関係者で策定したアクションプランの計画期間が令和8年度までに設定されていることから、同年度に事業評価等を行ったうえで継続可否等を再検討する。

【ロジックモデル・指標の達成度】

ロジックモデル	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)		②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)		③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)		④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)	
	・ライフステージの特性に応じた歯科口腔保健推進の取組実施		・歯科健診受診 ・歯科口腔に対する意識の向上		・かかりつけの歯科医院をもち、定期的に歯科検診を受診する市民が増える。 ・セルフケアとプロフェッショナルケアの両立を実践する市民が増える。		・自身の歯を生涯保つ市民が増える。 ・口腔機能を維持している高齢者が増える。 ・市民の健康寿命が延伸する。 ・社会保障費の伸びが抑制される。 ・市民のWell-beingが向上する。	
	活動の指標	指標の内容 ※②結果アウトプットに対応した指標を設定	実績		目標		成果の指標(KPI)	指標の内容 ※③中間アウトカムに対応した指標を設定
			年度	R5年度	R6年度	R7年度		年度
			目標	10	16			目標
		新たな歯科口腔保健推進事業の創出数(累積)	実績	14	16	16		実績
			達成率	140.0%	100.0%			達成率
			目標					目標
			実績					実績
			達成率					達成率
			年度	R5年度	R6年度	R7年度		年度
			目標					目標
			実績					実績
			達成率					達成率

基本計画(政策推進プラン)				
事業区分	重点		施策 成 果 指 標	—
施策コード	主	1-3-1		
	再	—		
分野別目標	一人ひとりが心豊かに暮らし、元気に輝いている			
施策	一人ひとりが健康で、生涯元気に活躍できる社会づくり			
事業群	ライフステージに応じた健康づくり			
行政運営プラン				
取組方針	—			
推進項目	—			

事業費(千円)				
令和6年度決算額(見込額)				
	歳出		34,233	
	歳入	特定財源	5,257	
		一般財源	28,976	
前年度決算額・翌年度予算額				
	年度		R5	R7
	歳出		27,475	48,580
	歳入	特定財源	3,324	6,683
		一般財源	24,151	41,897

事務事業マネジメントシート（令和6年度実施分）

事業名	特定健診事業			背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か
所管局	保健医療局	所管課	保険医療課		国の医療制度改革に伴い、平成20年度より医療保険者に実施が義務付けられたもの
根拠法令	高齢者の医療の確保に関する法律				
開始年度	平成20年度	行政計画	特定健診・特定保健指導実施計画		

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか 40～74歳の福岡市国民健康保険被保険者	実施内容（事業手段）	令和6年度、前年度の改善方策を踏まえ、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか ・各区と本庁の一体的な推進体制を強化するため、受診率向上会議を実施。 ・DM、SMS、架電による個別勧奨の実施。 ・市政だより等による広報、啓発。 ・医師会との連携による医療機関への受診促進依頼。 ・国保連のシステムを活用し、未受診者で治療中の人の検査データを収集し特定健診を受診したものとみなす「医療情報収集事業」を実施。 ・加入保険に関係なく、様々な健診を受診できる「よりみち健診」を実施。	成果（見直し判断基準）	どのような状態になったら事業を見直し(終了)するのか 特定健診・特定保健指導実施計画（第四期）の最終年度である令和11年度に、特定保健指導実施率40.0%に達しない場合は、事業改善を図る。
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか 特定保健指導を必要とする人を的確に抽出し、保健指導を実施することにより、生活習慣病の発症や重症化を予防する。				

【ロジックモデル・指標の達成度】

ロジックモデル	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)				②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)				③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)				④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)			
	・広報・啓発 ・個別受診勧奨 ・健診を受診しやすい環境づくり ・特定健診以外の健診データ等の活用				・特定健診受診率の向上 ・特定保健指導対象者の的確な抽出				特定保健指導の実施により、生活習慣の改善を図り、生活習慣病の発症や重症化する人の増加が抑制される				生活習慣病の発症及び重症化の予防により、市民の生活の質が維持・向上するとともに、医療費の伸びの適正化が図られる			
	活動の指標	指標の内容 ※②結果アウトプットに対応した指標を設定			実績		目標		成果の指標 (KPI)	指標の内容 ※③中間アウトカムに対応した指標を設定			実績		目標	
		特定健診受診率	年度	R5年度	R6年度	R7年度	最終年度	特定保健指導実施率		年度	R5年度	R6年度	R7年度	最終年度		
			目標	40.0%	29.0%	31.0%	R11年度			目標	40.0%	30.5%	32.0%	R11年度		
			実績	28.3%	集計中		40.0%			実績	30.3%	集計中		40.0%		
		達成率	70.8%	—		達成率	75.8%	—								
		特定健診継続受診率	目標	70.0%	64.0%	65.0%	R11年度	目標					R 年度			
			実績	61.0%	集計中		70.0%	実績								
			達成率	87.1%	—			達成率								

基本計画(政策推進プラン)

事業区分	重点				施策成果指標 健康に生活している高齢者の割合 (60歳以上で「健康で普通に生活している」と回答した市民の割合)
施策コード	主	1-3-1			
	再	—			
分野別目標	一人ひとりが心豊かに暮らし、元気に輝いている				
施策	一人ひとりが健康で、生涯元気に活躍できる社会づくり				
事業群	ライフステージに応じた健康づくり				
行政運営プラン					
取組方針	—				
推進項目	—				

事業費(千円)

令和6年度決算額(見込額)				
	歳出		636,946	
	歳入	特定財源	250,705	
		一般財源	386,241	
前年度決算額・翌年度予算額				
	年度		R5	R7
	歳出		662,751	673,440
	歳入	特定財源	198,767	217,736
		一般財源	463,984	455,704

事務事業マネジメントシート（令和6年度実施分）

事業名	特定保健指導事業・特定保健指導の遠隔実施事業			背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か
所管局	保健医療局	所管課	保険医療課		国の医療制度改革に伴い、平成20年度より医療保険者に実施が義務付けられたもの
根拠法令	高齢者の医療の確保に関する法律				
開始年度	平成20年度	行政計画	特定健診・特定保健指導実施計画		

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか 40～74歳の福岡市国民健康保険被保険者 特定健診の結果、特定保健指導の対象基準に該当した者	実施内容（事業手段）	令和6年度、前年度の改善方策を踏まえ、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか ・医療機関と対象者の負担軽減や利便性の確保を目的に、情報通信技術を活用した「特定保健指導の遠隔実施事業」を継続実施。対象者への利用勧奨や医療機関への事業周知を強化。 ・国の制度改革に伴う、保健指導のアウトカム評価の導入。 ・特定保健指導実施体制について、医療機関向けのアンケートを実施。	成果（見直し判断基準）	どのような状態になったら事業を見直し(終了)するのか 特定健診・特定保健指導実施計画（第四期）の最終年度である令和11年度に、メタボ該当者及び予備群の出現率27.5%に達しない場合は、事業改善を図る。
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか 特定保健指導の実施により、生活習慣の改善を図り、生活習慣病の発症や重症化を予防する。				

【ロジックモデル・指標の達成度】

ロジックモデル	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)					②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)					③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)					④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)				
	・未利用者施策の実施 ・実施機関の負担軽減策の検討					・特定保健指導実施率の向上					メタボ該当者及び予備群が減少する					生活習慣の改善が図られ、生活習慣病の発症や重症化する人の増加が抑制される				
	指標の内容 ※②結果アウトプットに対応した指標を設定					指標の内容 ※③中間アウトカムに対応した指標を設定					指標の内容 ※④最終アウトカムに対応した指標を設定					指標の内容 ※⑤最終アウトカムに対応した指標を設定				
	活動の指標					成果の指標（KPI）					成果の指標（KPI）					成果の指標（KPI）				
		年度	R5年度	R6年度	R7年度	最終年度			年度	R5年度	R6年度	R7年度	最終年度			年度	R5年度	R6年度	R7年度	最終年度
		目標	40.0%	30.5%	32.0%	R11年度			目標	未設定	未設定	30.0%	R11年度			目標	未設定	未設定	30.0%	R11年度
		実績	30.3%	集計中		40.0%			実績	30.2%	集計中		27.5%			実績	30.2%	集計中		27.5%
		達成率	75.8%	—		40.0%			達成率	—	—		27.5%			達成率	—	—		27.5%
		目標				R 年度			目標				R 年度			目標				R 年度
		実績							実績							実績				
		達成率							達成率							達成率				

基本計画(政策推進プラン)					
事業区分	重点				健康に生活している高齢者の割合 (60歳以上で「健康で普通に生活している」と回答した市民の割合)
施策コード	主	1-3-1			
	再	—			
分野別目標	一人ひとりが心豊かに暮らし、元気に輝いている				
施策	一人ひとりが健康で、生涯元気に活躍できる社会づくり				
事業群	ライフステージに応じた健康づくり				
行政運営プラン					
取組方針	—				
推進項目	—				

事業費(千円)			
令和6年度決算額(見込額)			
	歳出		48,447
	歳入	特定財源	52,625
		一般財源	▲ 4,178
前年度決算額・翌年度予算額			
	年度	R5	R7
	歳出	47,999	62,957
歳入	特定財源	55,783	55,219
	一般財源	▲ 7,784	7,738